

ちばZOO

どうぶつ公園ニュース



コツメカワウソ一家
～14頭で勢ぞろい～

目次

👁 Director's Eye	1	🐾 動物病院から「転ばぬ先の杖」	5
🐾 表紙の説明～コツメカワウソ		🐾 動物公園 diary	6
🐾 動物公園の動物	2	👂 来園者の声	
「やってきたマリリン その後…」		🐾 お知らせ	7
🌿 飼育よもやま話「ヒツジの衣替え」			
👣 特集「ナマケモノの探し方」	3～4		
🐾 動物公園の植物			
「春の植物(サクラ)」	5		



Director's Eye

『^ま磨^{せん}穿^{てっ}鉄^{けん}硯』

啓蟄も過ぎ、すっかり季節は春。

卒業式で感傷的になったのもつかの間、間もなく入学式。元気に胸を膨らませる子どもたちを見るにつけ、こちらも「大志を抱きたく」なってくる時期です。

さて、この動物公園、昭和60年の開園から4半世紀



ハシビロコウ
(鳥類・水系ゾーン)

以上が経過し、すっかり本市のランドマークになりました。しかし、30年弱の間に「発展」「成長」もしましたが、寄る年波には勝てず、施設・設備は「年季」が入ってきています。

今後、計画的にリニューアルしていかなければなりません。開園当時とは随分と余暇の過ごし方

や動物園のあり方が変化しています。動物園と言うと、一般的には「小さいときに親に連れられて」「小学校の遠足で」「親になって子供を連れて」と、一生の間に3回訪れると言われていますが、今後は是非とも「何度も来たい」施設と



ペルシュロン(子ども動物園)

なっていけるよう、楽しく、また思い出に残る施設づくりと多彩なイベント開催に努めていきたいと考えています。

そのためには、多くの方々のご意見等を踏まえながら、常に世相とマッチしながら動物園の役割を発揮していけるよう、また、地域や市民の方々に誇りに思ってもらえる施設となっていくよう「磨穿鉄硯：鉄の硯に穴をあけるほどの強い意思」の心構えで、取り組んでいかなければ・・・と日々、痛感しています。

(園長 朝生智明)

コツメカワウソ



ドジョウは
まだかな!!

とても、愛らしいコツメカワウソの子どもたち。昨年の9月27日に産まれました。最近、人気急上昇。漢字では「小爪川獺」と書きます。

分類的にはネコ目、イタチ科に属しますが、確かに「そんな感じ」ですね。生息地は、インド、インドネシア、タイ、カンボジア、中国南部、ネパール、フィリピン、ベトナム、マレーシアと広範囲に分布していて、河川の周辺などに生息し、家族で群れを作って生活しています。

体長は40～60cm、体重は3kg弱から5kg強。指に小さな爪があることが、種名の由来です。機敏に水陸を動き回っていて観察しづらいけど、是非、よく見て下さいね。

食べ物は、野生では、魚やカエル、エビや貝などをたべているようです。



どこ行くの?

当園のエサやりタイム(毎日、午後1時15分)には、「ドジョウ」を与えています。展示場の横はガラス張りなので、水中でドジョウを捕まえる姿が観察できます。一見の価値がありますよ。

さて、表紙の写真は、去年生まれた5頭の子どもを含む一家14頭が勢ぞろいした貴重なショットです。

なかなか親近感を覚えますが、人間との関わりも深い動物です。マレーシアでは前足の器用さと人によく馴れるため漁に使われています。また中国では田んぼに入り込みカニなどを取るためドロをかきまわすので、害獣として扱われているようです。

なお、カワウソのうち、ニホンカワウソは、かつて、北海道から九州まで幅広く国内に生息し、「河童」のモデルと言われたり、身近な存在の動物でしたが、残念ながら2012年に絶滅が宣言されています。

コツメカワウソに限りませんが、野生動物と人との共存が野生動物を保護していくことにつながります。



なかよしな
子どもたち

(小動物ゾーン担当 鈴木克典)



2012年7月9日、当園にやってきたメスのカリフォルニアアシカのマリン。

当園はそれまで4頭

のアシカを飼育していましたが、全頭が高齢でした。それでも元気いっぱい、鳥類水系ゾーンの人気者ですが、繁殖しづらいのが現状なので若いメスのアシカに来園してほしいとずっと思っていました。

日本の動物園や水族館には、アシカの戸籍を管理して繁殖のため他園へへの移動などをコーディネートするシステムがあります。その調整により、大阪の海遊館からマリンが来園することが決まりました。

そして7月、マリンが大阪からやってきました。園の外からやってきたマリンは病気の持ち込みなどを予防する検疫という検査を14日間行った後、群れとの合流の日を迎えました。

他の4頭とは年齢もかなり離れ、育ってきた環境も全然違います。マリンが受け入れてもらえるか、私はとても心配でした。

しかし、心配は無用でした。池に勢いよく入ったマリンは、しばらく池を確かめるように泳ぎまわっていましたが、年上のアシカ達と小競り合いなどもなく、あっさりと群れに馴染んでしまいました。餌も初日から群れと一緒にもりもり食べたので、私はほっとしたやら心配のしすぎを反省したやら、複雑な心境でした。

マリンは元気いっぱいな上にとっても運動神経が良

やってきたマリンその後…

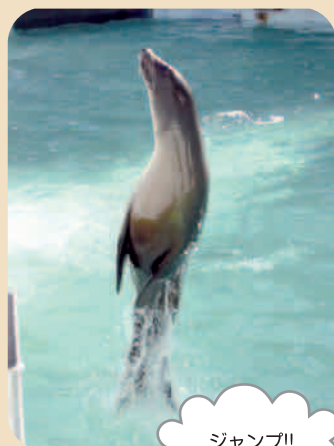


マリンで～す

く、アシカ池をイルカのようにジャンプしながらビュンビュン泳ぐ姿をよく見かけます。そしてまた、とても好奇心旺盛でガ

ラス越しにお客様を観察するのも大好き。ガラス越しにとっても近くまで寄ってくるのがよくあります。そんな時はマリンの口元にご注目。微笑んでいるような表情をよくします。もちろん、これは私の感想なのですが…。

アシカの繁殖期は初夏、妊娠期間は約1年です。とんとん拍子にうまく事が進んでもマリンが子どもを出産するのは少し先になります。しかし、これだけの順応力を見せてくれたマリン。きっと愛らしい子どもの誕生も間もなくでは？と期待しています。



ジャンプ!!

(鳥類・水系ゾーン担当 石田郁貴)



多くの動物は、暑くなる前に短い毛になったり、寒くなる頃には長い毛になったりと、季節によって毛が生え換わります。

ヒツジの原種(家畜になる前の野生の動物)であるムフロンも、初夏にはやわらかな下毛の密度が低くなり、硬く粗い上毛も短いものに生え換わります。それなのに、ほとんどの家畜ヒツジは、季節による「毛変わり」はおろか、毛の生え換わりがありません。そこで、私たち人間が、夏を迎える前に、ハ



毛刈り前(ビフォー)

サミやバリカンでヒツジたちの毛を短く刈り込んであげる必要があります。そうしないと、夏の暑さや毛の重さに耐えられなくなってしまう

ヒツジの衣替え



毛刈り後(アフター)

のです。

人間は、今から6、7千年前、ヒツジの祖先であるムフロンの「毛」に注目し、とくにやわらかく「髓」のない「下毛」がフェルトや糸として利用で

きることを発見しました。そして、長い年月をかけ、ムフロンを現在の家畜ヒツジへと改良していきました。

「紡ぐ」という技術の進歩が、さまざまな繊維製品を生みましたが、その最初初期の繊維のひとつが「絹」と並び、「羊毛」だったのです。

ところで、みなさんよくご存じの「フリース」の語源は、ヒツジ1頭から刈り取られたひとつながりの羊毛のことです。今年も、6月1日(土)に「ヒツジの毛刈り」をご覧ください。羊毛に込められた「歴史」についても、少し思い起こしていただけたら幸いです。

(子ども動物園担当 並木美砂子)

特集

バードホールには4頭の
フタユビナマケモノが暮らしています。
今回はナマケモノの探し方の特集です。
実際にご来園いただき、ぜひ
探してみてください！

ナマケ



チェックポイント①



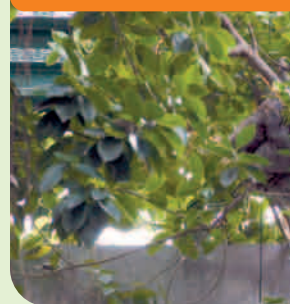
左側にある銀色のダクトの上

チェックポイント②

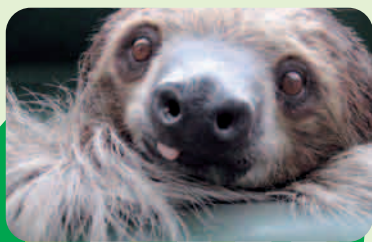


中央の一番最上段、緑の鉄骨の中

チェックポイント③



正面中央のガジ



お父さん

1993年8月20日来園。いつも舌をしま
い忘れて寝ています。

①②④にいることが多い。



お母さん

1991年9月1日、当園生まれ。
全体的に色が薄く、顔が白っぽいです。

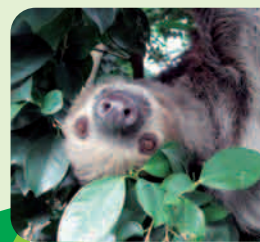
②④にいることが多い。



おばあちゃん

1991年3月4日来園。高齢のため左目
が白内障になっています。

②④にいることが多い。



タマチン

2008年8月26日、当園生まれ。
全体的に黒っぽく他の3頭より

小さい。①③にいることが多い。

モノの探し方



※この写真にナマケモノは写っていません

ポイント③



ジュマルの木の中

チェックポイント④



ガジュマルの木の樹冠部

さらに！



最上段にある管理用の
キャットウォークと呼ばれる鉄骨の通路の上

チャンスタイム



毎日午後2時40分前後に人工のスコールを降らせます。
この時ナマケモノがよく動きますよ。



まれ。
頭より一回り
が多い。

いかがでしたか？

4頭すべてを発見するのはかなり
難易度が高いですが挑戦してみ
て下さい。なお、動物科学館1階総合案内
では双眼鏡を借し出しています。

(バードホール担当 中村智行)

動物公園の植物



(ムラロン放飼場前のオオカンザクラ)

市内で桜の名所と言えば、千葉公園、亥鼻公園、泉自然公園、千葉ポートパーク、千葉県スポーツセンターなどがありますが、案外知られていないのが、動物公園です。

園内には、約1,100本、9種、18品種ありますが、うち一番多いものが「ソメイヨシノ」の約350本です。これは、当園を建設した当時に植えられたもので、3月下旬から4月中旬が見頃です。

園内で最初に咲くのは、「カンヒザクラ」(寒緋桜)です。2月に桃紅色した花が垂れ下がって咲きます。西口ゲートから上がってくると、トートムポールの脇に1本あります。

もともと動物公園敷地内にあるのは「ヤマザクラ」(山桜)と「ウワミズザクラ」(上溝桜)です。

ヤマザクラは、若葉と一緒に花が咲き、日本を代表す

春の植物(サクラ)

る桜で約200本あり、4月から5月が見頃です。

一方、ウワミズザクラですが、数がだいぶ減っていますが、4月から5月に樹林地内で穂状の白い花を地味に咲かせます。

いよいよ、ソメイヨシノが咲き終わり、「サトザクラ」の出番です。4月下旬から咲き始め、品種は、「フゲンゾウ」(普賢象)が一番多く、約200本、正門からの坂道の両脇と鳥類・水系ゾーン芝生広場がおすすめのポイントです。

そして、同じサトザクラの仲間で珍重されるのが、「ギョイコウ」(御衣黄)です。花弁が緑色や黄色で、花弁の中心に赤っぽい筋が入り、例年カメラを抱えたマニアが訪れる人気のサクラです。家畜の原種ゾーンの芝生広場に2本あり、4月の下旬頃から咲き始めます。

さらに、ここには、もう一本見応えのある桜があります。ソメイヨシノより一足先に咲くカンザクラの園芸品種である「オオカンザクラ」です。

比較的大きな桜で、花は大輪、半分くらい開き、下を向いて恥ずかしそうにしています。



(家畜の原種ゾーンにあるギョイコウ)

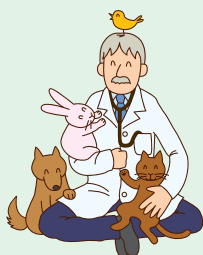


(レストラン前のソメイヨシノ)

こうしてみると、2月のカンヒザクラに始まり、5月のサトザクラまで桜を十分満喫できる動物公園です。

是非、サクラを愛でにお越しください。

(管理課担当課長 若竹啓二郎)



動物病院から

大流行したインフルエンザも落ち着いてきたようです。予防のためワクチンを打った方も多かったことと思います。さて、感染性の病

気と言えば、蚊などの昆虫を介して感染する、日本脳炎やマラリア、動物では、犬のフィラリア、ニワトリ類の鶏痘などがあります。子どもの頃に、日本脳炎の予防接種を受けた方も多いと思いますが、日本脳炎にかかるのは私たちヒトだけではなく、他の動物もかかることがあります。感染のし易さは動物の種類によって異なり多くの動物は心配ありませんが、ウマはかかりやすいとされていて、専用のワクチンもあります。

当園でも、子ども動物園の家畜のウマと野生である草原ゾーンのグレビーシマウマ、家畜の原種ゾーンのモウコノウマに日本脳炎の予防接種をしています。家

転ばぬ先の杖

畜のウマは、大丈夫ですが、野生のウマの仲間は馴れていないため、普通に注射をすることができません。そんなときには注射器に少し細工をした、手作りの吹き矢にワクチンを注入し、寝室で至近距離から狙い打ちします。しかし彼らも普段とは違う雰囲気を感じて部屋の中を動き回り、また狭い獣舎内は狙いをつけるには制約が多く、難しい作業です。一瞬のチャンスを狙い、一息で注射器を飛ばします。当たった瞬間は彼らも驚いて、壁を蹴ったり暴れます。毎春、1～2回、シマウマたちもこちらの予防接種。病気予防のため、少し我慢をしてもらっています。

(診療担当 辻村直美)



吹き矢



注射器



動物公園 diary

11月 26日 出張授業(仁戸名小学校)
27日 職場訪問受入(草野中学校)

12月 2日 フラミンゴの性別判定



1 羽ずつ捕獲して個体確認

8日 「飼育担当者のちょっといい話」
(猛禽編)



説明に聞き入る参加者

11日 出張授業(登戸小学校)
15日 「飼育係によるお楽しみDAY」
(飼料庫編)

15日 埼玉県立こども動物自然公園に
引越すレッサーパンダ
「コウタ」のお別れ会



みつわ台保育園 園児によるレッサーパンダ体操

16日 クリスマスシアター
17日 レッサーパンダ「コウタ」移動
(埼玉県立こども動物自然公園)
23日 「飼育係によるお楽しみDAY」
(クリスマススペシャル)

1月 2・3日 お年玉プレゼント

2・3日 新春特別講演会
「ヘビのおはなし」

2・3日 新春特別企画

「ソウさんと記念撮影」

12日 「飼育担当者のちょっといい話」
(チンチラ編)

14日



久しぶりの銀世界

17日 出張授業(土気南小学校)

19日 「飼育係によるお楽しみDAY」
(ホンドザル編)

24日 出張授業(宮崎小学校)

29日 出張授業(さつきが丘東小学校)

ありがとう 安らかに・・・

ホンドザル(ネム) (死亡した主な動物)

1984年 11月 20日受贈～ 2012年 12月 28日死亡

クロミミマーモセット

2004年 2月 4日繁殖～ 2013年 1月 14日死亡

シバヤギ(クララ)

2001年 9月 25日繁殖～ 2013年 1月 20日死亡

ベニイロフラミンゴ

1993年 5月 31日受贈～ 2013年 1月 29日死亡

アミメキリン(リュウオウ)

2009年 6月 2日受贈～ 2013年 1月 30日死亡

来園者の声

Q1

ライオンやトラも見たいです。
(八千代市 11歳 男性)

A1

ライオンやトラなどの猛獣は飼育展示していませんが、人間に身近な存在である家畜の原種などの飼育展示を特徴としています。今後、どんな動物を展示していくかは引き続き検討していきます。

Q3

入園時に気づくことですが、正門からの上り坂に四季の花での出迎え方とか、目線を楽しくさせる工夫はありますか。
(千葉市 70代 男性)

A3

当園は、動物園であるとともに「公園」でもあり、様々な樹木や花も花ボランティアの方々と連携しながら、お楽しみいただけるよう努めていますが、今後、より一層楽しく、夢広がる園内となるよう案内板なども含め工夫していきます。

Q2

僕のお父さんは、「ハシビロコウ」の大ファンです。何か良いプレゼントはありますか。
(千葉市 8歳 男性)

A2

園内の売店では、「ハシビロコウ」のお皿やマグカップなどを販売しておりますので、ご利用ください。

Q4

体験イベントの参加人数を増やして欲しいですが…。
(市原市 30代 男性)

A4

動物舎へ入る場合、お客様の安全対策等の関係から参加人数に制限がありますが、今後、可能な限り工夫をしながら実施回数も増やしていきます。なお、「動物たちの食事時間」を各ゲートでお知らせしています。動物によっては、餌やり体験ができます。

これからの催し物

●ちよっといい話

4月7日(日) 13:10～ アジアゾウ
5月5日(日) 13:10～ サル島
6月9日(日) 13:10～ 夜行性動物

●ヒツジの毛刈り

6月1日(土)

●親子で飼育体験

5月26日(日)
受付期間 4月1日～4月28日

●飼育係によるお楽しみDAY

4月20日(土) 13:30～ オオカンガルー
5月18日(土) 13:30～ オランウータン
6月15日(土) 13:30～ サル比較舎

●1日飼育体験

6月2日(日)
受付期間 4月1日～4月28日

●紙芝居会

4月14日(日) 11:30～、13:30～
5月12日(日) 11:30～、13:30～

●ゆかいな森の音楽会

5月19日(日) 11:00～

その他にもコンサート等、
様々なイベントを予定して
います。日程が決まり次第、
「ホームページ」「市政だより」等
でお知らせします。

ツイッターのお知らせ

動物公園の“今”を日々つぶやき中。現在フォロワー数は3,000を超えています。ぜひツイッターで旬の情報をお楽しみください。 千葉市動物公園 公式Twitterアカウント @ChibaZoo



動物公園サポーターの募集

サポーター制度にご協力をお願いします。

皆様からの会費は動物のエサ代、獣舎の整備費などの一部に充当させていただきます。

特 典

1 当園オリジナルグッズのプレゼント
(新規入会の場合)
2 招待券プレゼント

3 サポートズデーへのご招待
4 動物公園に関する情報のご提供

会費 個人サポーター 1回 1,000円以上 法人サポーター 1回 10,000円以上

[登録] サポーター申込書に必要事項を記入し提出して下さい。

※平成25年度からサポーター制度を充実させてまいります。今後、ホームページ等でお知らせします。

インフォメーション

- ・開園時間 9:30から16:30 (入園は16:00まで)
- ・休園日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月1日)
- ・入園料 大人500円、小中学生100円、小学生未満無料(団体割引 有料人数30名以上で2割引)
- ・駐車場 普通車500円、大型車2,100円(閉門時間17:00)
- ・<http://www.city.chiba.jp/zoo/>

年間パスポート 大人 2,500円、小中学生 500円

2013年2月末現在の飼育数

Classified number of animals as of 28, Feb. 2013

哺乳類 Mammalia	63種 Species	497点 Specimens	鳥類 Aves	72種 Species	301点 Specimens
爬虫類 Reptilia	7種 Species	33点 Specimens	両生類 Amphibia	1種 Species	2点 Specimens
			魚類 Pisces	1種 Species	1点 Specimens
総計 Total		144種 Species	834点 Specimens		